

イノベーション創出に貢献できる
人材に関する検討WS

FUJITSU

shaping tomorrow with you

イノベーション創出に向けた人材育成 ～富士通での取組み

2018年9月27日

富士通株式会社

常務理事 人事本部副本部長（人材開発担当）

梶原 ゆみ子

富士通について

富士通とは？

- グローバルに事業展開／ローカルな文化・習慣を重視
- お客様のビジネス・ニーズに合わせてインテグレーション

ITサービス

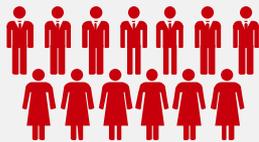


日本 **1**位



世界 **7** 位

従業員



約 **14** 万人

データセンター

100ヶ所以上

サービスデスク

30言語以上

CDPによる「気温変動」と「ウォーター」の調査で最高評価を獲得

(両分野でA獲得は対象
3000社中25社のみ)



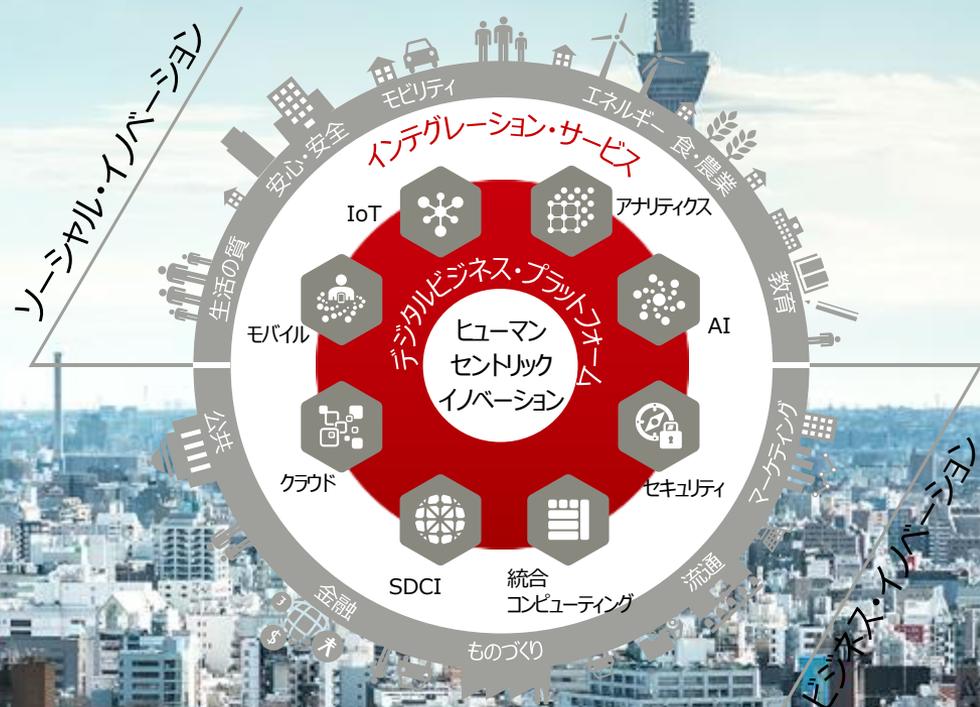
ダウジョーンズ・サステナビリティ・

ワールド・インデックスに **18** 度目の選出

(日本企業では最多)



<<デジタル革新を実現する富士通の技術とサービス>>



日本に軸足を置くグローバルICT企業、ICTとこれまでの経験を活かし、お客様とともにより豊かな社会の実現に挑戦しています。

企業理念

富士通グループは、常に変革に挑戦し続け
快適で安心できるネットワーク社会づくりに貢献し、
豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供します。

(FUJITSU Way からの抜粋)



富士通らしさ

お客様に対し、柔軟であること、
誠実であることを心がけています。
幅広いサービスと製品で、お客様と
ともに困難な課題にも挑戦しています。



Human Centric Innovation

Co-creation for Success

- デジタル革新の共創はPoC / PoBから具体的なビジネス成果を出す段階へ
- データから価値を生み出し、ビジネスと社会のサクセスを実現

共創を担う人材とは

富士通が求める「共創型人材」

新たなことに意欲的に挑む、チャレンジ精神あふれるクリエイティブな人材
多様な価値観を柔軟に受け入れ、世界の人々と協働できるグローバル人材



撮影：川本聖哉、
出典：あしたのコミュニティーラボ(<http://www.ashita-lab.jp/>)

「共創型人材」に必要とされる能力

1. 幅広い知識と複数の専門性（ π 型）

リベラルアーツ・人間力

異分野領域の知見



深い専門性

① 深い専門性

- ICT分野は技術革新のスピードが際立っており、それをリード、フォローするためには、自らの専門領域を常に深めることが不可欠

② 異分野領域の知見

- 一つの専門領域だけでは解決できず、複雑で時にはトレードオフの選択を要する難問が多数出現してくるため、異分野にも知見を広げることが必要

③ リベラルアーツ・人間力

- 技術は、社会を豊かにし幸せをもたらすために
 - 社会的課題の解決、共通善の視点からの判断
 - 多様な価値観を受け入れられる柔軟性、コミュニケーション力が必要

「共創型人材」に必要とされる能力

2. 学び続けること

【何を】

- 専門領域の技術（技術革新の創出、最新技術のフォローのため）
- 異分野領域（全体を俯瞰する力、独創的な企画力を身につけるため）
- 社会情勢（課題を発見し、技術を適切に活用するため）

【どこから】

- OJT
- Off-JT（リカレント教育）
- お客様、市場、コミュニティ

3. コミュニティ形成力

- 
- 1社でできることには限界があり、市場（現場）との対話を通じてイノベーションを起こすオープンイノベーションの時代においては、コミュニティの多様なメンバーと共創することが重要
 - 自らの想いや技術の価値を発信し、目的を共有し共感されるコミュニティを形成することが必要

「共創型人材」を輩出する 学びの“場”

人材育成における4つのテーマ

経営戦略

(Innovation, Global etc.)

商品・技術戦略

(Cloud, BigData, Mobile, SDx, Security etc.)

組織・人事戦略

(One Fujitsu, Ambition & Growth, Diversity & Inclusion)

グローバルビジネスリーダーの育成

長期的視点に基づくグローバルに活躍できるビジネスリーダー人材の育成

プロフェッショナル化の推進

プロフェッショナル人材の育成と業界・世界標準フレームワークとの連携

知の創発と実践の場づくり

ベースラインの強化

若手層からシニア層まで世代や立場にフィットした階層別教育の充実

多様な“個”が活躍する風土の醸成

ダイバーシティ推進、キャリア支援等を通じて組織と人材をサポート

企業理念

(FUJITSU Way)

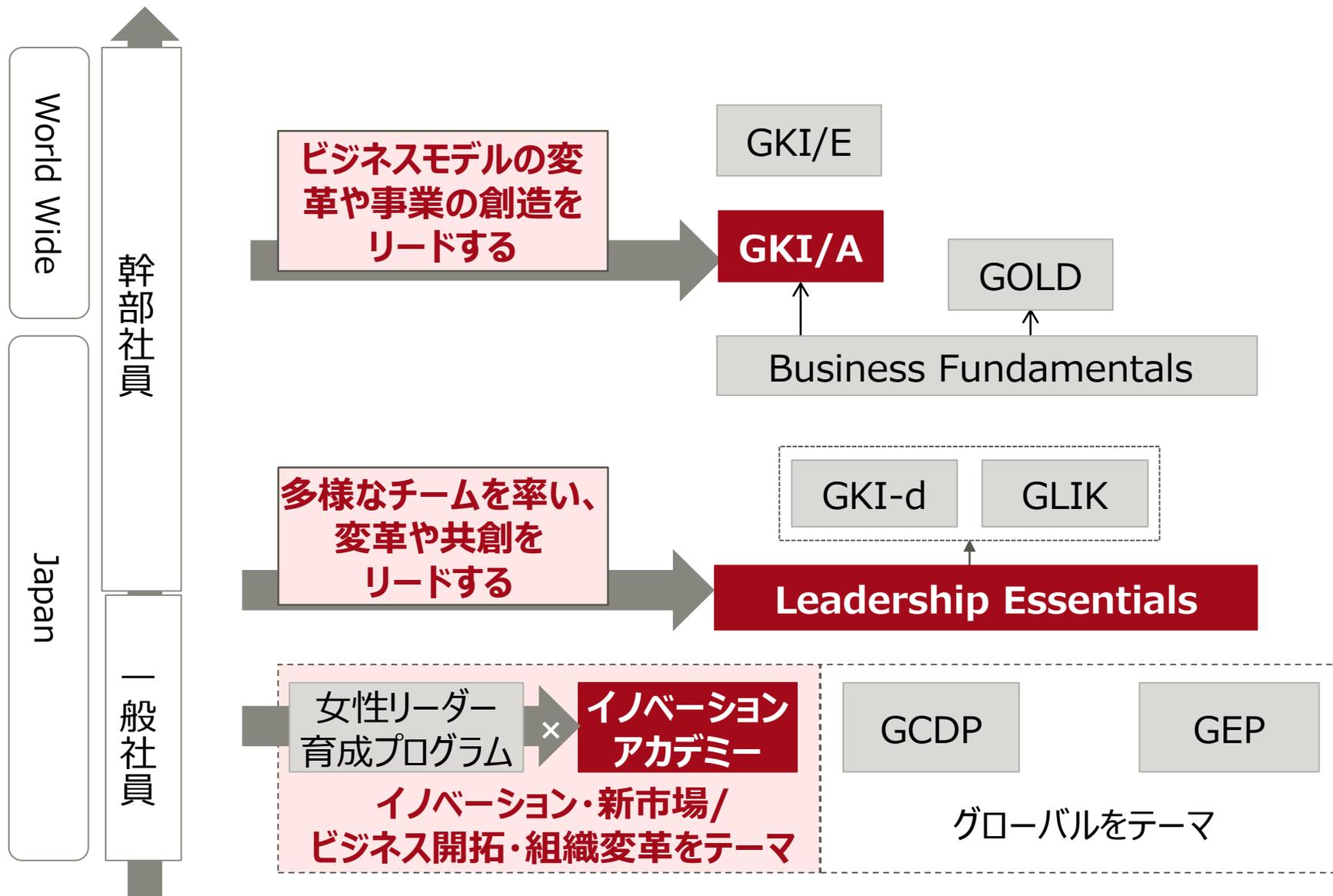
経営ビジョン

(Human Centric Intelligent Society, Fujitsu Technology & Service Vision)

人材育成テーマ (人材像)

(グローバルに市場を創造できるイノベーター)

グローバルビジネスリーダー育成プログラム体系



■ 目的

- 将来のリーダー候補を対象に、ビジネスセンス、変革マインドの強化を図る。

■ 対象者（2017年度）

- 将来のリーダー候補
- 参加者 180名
- 女性比率 約50%

■ プログラムの特徴

- 多様なメンバーとの共創を通じて、仲間を巻き込みシナジー効果を生み出すリーダーシップを強化する。
- 理想とする未来を構想し、現実を変える一連の思考プロセスを経験する。
- ビジネス感覚、デザイン思考、論理的思考力等のビジネスリーダーの基礎スキルを高める。

プログラム内容（イノベーションアカデミー）

講座名	内容
プレセッション（女性のみ）	役員講話、OBとの対話、ランチ懇親会、女性が前に出る動機づけとなる講義。
キックオフ	動機づけとなる基調講演、リーダーシップとイノベーションを様々な観点から考え、リーダーシップの原動力となる「自らの強い思い」を表出化する。
デザイン思考ワークショップ	実際に街や商業施設のフィールドワークを行い、デザイン思考の一連のプロセスを体験する。
ビジネス提案に関する講義	スタートアップ、ビジネスモデル、ビジネス提案の勘所など、チームの検討を後押しするために必要なインプットを行う。
集中活動日	富士通のリーダーが知っておくべき最新動向の知見を一気に広げる。
仮説審査会	チームの課題設定を発表。最初のステージゲート（関門）となる。仮説検証の高速回転を行い、潜在的ニーズが特定できたかを確認。出来ていないチームは2週間後に再審査
中間審査会	チームの課題解決を発表。具体的ソリューションの提示が出来ていないチームは2週間後に再審査。
最終発表会	チーム検討の成果をプレゼン、上司も参加し、部下の成長を見とどける。
リフレクション	6か月のプログラムを振り返り、今後の成長に向けた目標をしっかりと見定める。

※ 上記の他にチーム集中検討日（8日間）を実施、半年間、**合計21日間のプログラム**

■ 目的

- 富士通グループのリーダーが、最低限のベースとして身に付けておくべき経営・イノベーション・共創の基礎知識、方法論の習得を図る。

■ 対象者

- 多様なチームを率い、変革や共創をリードすることが期待される幹部社員

■ プログラムの特徴

- インプット講座は多様なカテゴリーから構成され、幅広い学びが得られる。
- 他社合同研修により、学びの総合実践、共創体験の機会を提供する。
- 行動を振り返り、多方面にアンテナを広げる取り組みにより、自律的な能力開発の習慣化を図る。

プログラム内容 (Leadership Essentials)

カリキュラム	概要	日数
キックオフ	受講者への期待、動機づけ、イノベーション方法論概論、プログラム概要説明	0.5
社会課題とビジネス	SDGsの理解、グローバルな先進事例	1
リベラルアーツ	①リベラルアーツ入門 (0.5日) ②宗教で読み解く世界 (1日)	1.5
MBAエッセンス	・通信教育 (財務、経営戦略) ・集合教育：財務 (1日)、経営シミュレーション研修 (2日)、総合 (1日)	4
知識創造の方法論	シナリオ・プランニングWS, デザイン思考WS, ビジネスモデルWS	4.5
ファシリテーション	総合実践のためのファシリテーション演習	1
総合実践	他社合同総合演習	2
リフレクション	プログラム全体の振り返りと今後の成長プラン	0.5

集合研修 計15日

■ 目的

- 富士通グループで経営の役割を担うグローバルビジネスリーダーの育成

■ 対象者

- 将来の経営幹部として期待される、リーダーとしての高いポテンシャルを有する人材

■ プログラムの特徴

- 現実の経営及び事業課題を起点としながら、より高い視点と広い視野（経営者の視座）で経営・事業を考察し、実践への道筋をつけることに重点をおく。
- その過程においては、社内外のビジネスリーダーや専門家からのハイレベルな知見の獲得や、富士通のトップマネジメントによるコーチングがあり、リーダーとしての内面的な涵養と、グローバルな人的ネットワークの形成を促進する。

プログラム内容 (GKI/A)

カリキュラム	概要	日数
コア・モジュール 1 (東京)	<ul style="list-style-type: none"> 知識創造経営講義 (一橋大学 野中郁次郎名誉教授) 社内役員との対話セッション イノベーションの方法論 (デザイン思考) の講義 	5.5
コア・モジュール 1 (シリコンバレー)	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ企業等の訪問、現地リーダーとの対話 シリコンバレーエコシステムに関する専門家からの講義 デザイン思考ワークショップ 	4.5
コア・モジュール 2 (東京)	<ul style="list-style-type: none"> 社長、社内役員との対話セッション イノベティブな取り組みを行う企業の訪問、リーダーとの対話 他社経営者との対話セッション 	3.5
BDIテーマ発表	個人のテーマとして取り組む課題と、解決に向けた仮説を示し、アドバイザーからフィードバックを受ける。	1.5
BDI中間発表	提案の概要を示し、アドバイザーからフィードバックを受ける。	4.0
コーチング	発表の質を高めるため、ファカルティからアドバイスを受ける。 (各発表の前段階で、合計3回実施)	1.0
フィールドワーク	現場の一次情報を通じた新たな知見の獲得、および仮説検証の場として、自身のテーマに沿った訪問先を選定し、調査を行う。	随時
BDI最終発表	最終提言を経営層に対して発表し、フィードバックを受ける。	2.5

BDI (Business Design Initiatives)

自身のイニシアチブで取り組む経営課題を示し、解決に向けた施策を経営層に提案する

集合研修 計22.5日

共創のための“場”づくり

デジタルジャーニーを共に歩むSE共創実践の道場

共創フェーズ

情報収集・問題発見

アイデア創出

サービスの実装

デジタル
ジャーニー

チーム：顧客企業（旅人）× 富士通（パートナー）

FUJITSU Knowledge Integration Base PLY

場 (ba)



PLYで実践されている取り組み

- エンジニアを中心に、世界10カ国、延べ 34,000人が利用
- 延べ8,000人以上のSEが社外の人達と、最新技術や課題解決をテーマに、共創を経験できるワークショップを300回以上開催。
- これから共創を経験する社内外の人向けに、月30回以上も勉強会やコミュニティを開催。

社内外とのワークショップや人材育成プログラムが多数開催



知の創発と実践の場づくり

■ ハッカソンによる共創とイノベーションの創出

★テーマ：

子どもの未来を発明しよう！



★詳細

あなたの手で、子どもたちの明るい未来を創造しませんか？

技術が高度に進歩する一方で、数多くの社会問題も存在します。そんな世界を生きていく子どもたちに私たちはどんな未来を残せるでしょう。学び、遊びはどう変化するでしょう。アイデアを形にしましょう！

★スケジュール



■ テックショップ

- ・米国発の新たなものづくりの潮流
- ・個人や企業などによるオープンイノベーション創出の場
- ・アイデアをカタチにするプロトタイプ作成
- ・六本木に敷地面積1200㎡、約50種類の工作機器を導入

- 3Dプリンター、レーザーカッター、マシニングセンター、溶接、ショップボット、ワイヤーカッター、基盤加工機、ミシン、UVプリンター、ペイント、等



FUJITSU

shaping tomorrow with you